



令和5年度 安来市立第二中学校

学校評価結果（生徒・保護者・教職員）

1. 生徒対象

学校生活についてのアンケート（生徒対象）		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
1 学習に関すること					
1	学校が楽しい。	61.3	35	2.5	1.2
2	みんなで何かをすることは楽しい。	72.5	22.5	5	0
3	授業に主体的に取り組んでいる。	51.2	37.5	8.8	2.5
4	授業がよく分かる。	23.8	57.5	15	3.7
5	授業の始めの「めあて」や「ねらい」の提示で、その授業で何を勉強するのか見通しがもっている。	38.8	48.8	10	2.5
6	授業の終わりの「振り返り」で、その授業で何を学んだかを確認できている。	42.5	42.5	12.5	2.5
7	授業での話し合いで、新しいことに気づけたり、自分の考えを深めたりできている。	46.3	40	12.5	1.2
8	学活や道徳の授業で、友達の意見にふれて、自分の考えを深めることができている。	57.5	32.5	7.5	2.5
9	「総合的な学習の時間」の授業で、課題について探求したり、課題解決のために実践することができている。	48.8	45	5	1.2
10	ITの授業（複数の先生で行う授業）は、個別に教えてもらったりする場面がある。	25	28.7	28.7	17.5
11	図書館や図書資料を活用した授業がある。	46.3	37.5	11.3	5
12	授業ではICTを積極的に活用している。	55	36.3	6.3	2.5
13	家庭学習ではタブレット端末やPCを利用している。	32.5	25	21.3	21.3
14	家庭では、学校の宿題も含め、1時間以上は学習している。	40	35	18.8	6.3
15	調べ学習の時には、教科書や資料集以外の資料（本・雑誌・新聞・パンフレット・ICT）を利用している。	55	36.3	5	3.7
16	朝読書や朝学習の時間は集中して読書に取り組んでいる。	55	31.3	6.3	7.5
17	本をよく読んでいる。（月に5冊以上→1、月に3～4冊→2、月に1～2冊→3、月に0冊→4）	23.8	16.3	53.8	6.3

学校生活についてのアンケート（生徒対象）		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
2 学校生活に関すること					
1	困ったときに相談できる先生がいる。	33.8	33.8	20	12.5
2	メンター制度により、先生達にたくさん話を聞いてもらえて安心する。	23.8	50	17.5	8.8
3	自分のことを大切に思ってくれる友達がいる。	48.8	42.5	6.3	2.5
4	授業中に間違えたり失敗しても、いやな思いをすることはない。	55	28.7	13	2.5
5	授業中はきちんとした態度で学習に参加している。	51.2	40	6.3	2.5
6	学級の係活動や当番に、きちんと取り組むことができている。	70	25	1.2	3.7
7	学校行事や学年行事、集会活動などで、自分が活躍したり、充実感を感じたりすることができている。	53.8	36.2	6.3	3.7
8	生徒会活動によって、学校生活がよりよくなっている。	52.5	33.8	11.3	2.5
9	部活動に精一杯取り組んでいる。（部活動に入っていない人は空欄にしてください）	87.8	10.2	0	2
10	部活動を通して、身体と心が成長した。（部活動に入っていない人は空欄にしてください）	73.1	23.1	1.9	1.9
11	学校や地域で自分からすすんで挨拶ができている。	75	22.5	2.5	0
12	学校ではきちんとした服装で生活している。	92.5	7.5	0	0
13	登下校時はヘルメットを着用し（タスキはカバンの後ろにつける）、安全に十分気をつけて通学している。	87.5	11.3	0	1.2
14	地域の活動やイベント、ボランティア活動などに進んで参加している。	33.8	31.3	23.7	11.3
※数値はすべて%表示です。					

2. 保護者対象

学校生活についてのアンケート（保護者対象）		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
1	お子さんは、授業について「わかりやすい」など肯定的に捉えている。	21.9	50.7	23.3	4.1
2	お子さんは、家庭で1時間以上は学習する習慣が身についている。	26	31.5	27.4	15.1
3	お子さんは、家庭学習ではタブレット端末やPCを利用している。	16.4	27.4	31.5	24.7
4	お子さんは、地域の活動やイベント、ボランティア活動などに進んで参加している。	16.4	41.1	23.3	19.2
5	学校から出される家庭学習の課題（宿題）の量は適切である。	37	39.7	17.8	5.5
6	お子さんは、進んで本を読んでいる。	11	17.8	35.6	35.6
7	お子さんは、新聞やニュースなどに関心をもっている。	9.6	37	35.6	17.8
8	メンター制度を取り入れ、教師が生徒と向き合う時間を増やしたことについて評価できる。	31.5	46.6	17.8	4.1
9	メンター制度を取り入れたことは、お子さんのよりよい学校生活に寄与している。	28.8	49.3	16.4	5.5
10	安来二中は、学力育成に力を入れている。	24.7	54.8	17.8	2.7
11	安来二中は、人権教育に力を入れ、思いやりのある生徒を育てようとしている。	41.1	47.9	9.6	1.4
12	安来二中は、部活動が活発に行われている。	69.9	27.4	1.4	1.4
13	安来二中は、学校の様子をケーブルテレビやHP、校報等で積極的に情報発信をしている。	34.2	53.4	11	1.4
14	安来二中は、施設・設備や教室・廊下等の掲示など、学ぶ環境が整備できている。	26	56.2	16.4	1.4
15	安来二中は、地域の人にも進んで挨拶できる生徒が多い。	53.4	37	6.8	2.7
16	教職員は、子どものことを理解してくれている。	34.2	52.1	12.3	1.4
17	教職員は、子どもの頑張りを認めてくれている。	42.5	49.3	6.8	1.4
18	教職員は、子どもが困った時や相談ごとに誠意をもって対応してくれる。	53.4	37	6.8	2.7
19	教職員は、電話・懇談などで誠意をもって対応してくれる。	60.3	34.2	2.7	2.7
20	家庭では、お子さんと進路や将来のことについて話し合っている。	52.1	32.9	12.3	2.7
21	家庭では、学校の配布物や送信したお知らせ等に目を通している。	58.9	39.7	0	1.4
22	家庭では、起床、就寝時間や学習時間、手伝いなどの基本的な生活習慣について、話をしたりルールを決めたりしている。	26	50.7	16.4	6.8
23	家庭では、ゲーム機、携帯・TV等の電子メディア使用について、話をしたりルールを決めたりしている。	28.8	46.6	20.5	4.1

※数値はすべて%表示です。

3. 教職員対象

学校評価（教職員対象）		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
1 学校経営方針について					
1	学校経営方針を意識して教育活動にあたった。	13.3	86.7	0	0
2	「新たな課題」に積極的に挑戦しようとした。	20	73.3	6.7	0
3	「チーム二中」として一体感をもって取り組もうとした。	40	60	0	0
2 経営の重点と具体的な取組について					
(1)確かな学力の育成					
1	「めあて－振り返り」の整合性を重視した授業の実践に努めた。	33.3	46.7	13.3	6.7
2	担当教科等において、「個に応じた指導」に努めた。	26.7	60	13.3	0
3	担当教科等において「協働的な学び」の要素を取り入れることに努めた。	20	66.7	6.7	6.7
4	「学校図書館を活用した学習の展開」に努めた。	13.3	40	26.7	20
5	「ICTを活用した学習の展開」に努めた。	33.3	53.3	13.3	0
6	デジタル教科書の活用に努めた（英語・数学のみ）	20	60	20	0
(2)個々の生徒に応じた生徒指導					
1	「日々の生徒との対話と共感的理解」が適切に行われている。	20	80	0	0
2	メンター制度による「計画的な教育相談」が行われている。	20	60	20	0
3	「客観的データや情報の共有に基づいた指導」が適切に行われている。	0	80	20	0
4	「ケース会議、支援会議等の効果的運用」が適切に行われている。	26.7	60	13.3	0
5	「不登校（傾向）生徒支援、家庭や関係機関との連携」が適切に行われている。	26.7	53.3	20	0
6	「個々の生徒の特性への理解と対応」が適切に行われている。	26.7	60	13.3	0
(3)温かく自治的な集団づくり					
1	「生活母体としての学級における支持的風土づくり」が適切に行われている。	6.7	93.3	0	0
2	「人権教育の推進」が適切に行われている。	20	80	0	0
3	学年部による「道徳の時間の指導の充実」が適切に行われている。	26.7	53.3	20	0
4	「いじめ根絶への取組」が適切に行われている。	33.3	53.3	13.3	0
5	「自己存在感の感受、共感的な人間関係の育成、自己決定の場の提供」が図られている。	13.3	80	6.7	0
6	「『話し合い活動』の場」が適切に設定されている。	26.7	66.7	6.7	0
7	「様々な場面でのリーダー指導」が適切に行われている。	6.7	73.3	20	0
8	「ボランティア活動の推進」が適切に行われている。	13.3	73.3	13.3	0
9	「部活動ガイドラインに沿った部活動運営」が適切に行われている。	53.3	46.7	0	0
10	「生徒の自主性を尊重した部活動運営」が適切に行われている。	26.7	53.3	20	0
(4)地域等との連携					
1	「校区小学校との活動」が適切に行われている	26.7	73.3	0	0
2	「地域への広報」が適切に行われている。	50	50	0	0
3	学校教育活動における地域人材の積極的な活用が適切に行われている	14.3	78.6	7.1	0

学校評価（教職員対象）		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
(5)落ち着いた教育環境づくり					
1	「安全指導（生活、交通、防災等）の充実」が適切に行われている。	13.3	86.7	0	0
2	「安全点検の実施と環境整備」が適切に行われている。	46.7	53.3	0	0
3	「図書館内の図書の整備や掲示板等の充実」が適切に行われている。	73.3	26.7	0	0
4	「生徒同士、生徒と教職員間の適切な言葉遣い」が適切である。	6.7	73.3	20	0
5	「校内掲示の充実」が適切に行われている。	6.7	66.7	26.7	0
(6)教職員の資質向上と働きやすい職場環境					
1	「報・連・相の徹底」および組織的な対応が適切に行われている。	6.7	73.3	20	0
2	「指導力向上のための研修（校内授業研修、校外での研修）」が適切に行われている。	33.3	60	6.7	0
3	「気軽に相談できる職員室風土づくり」が適切に行われている。	33.3	60	6.7	0
3 校務分掌について					
(1)校務分掌全般					
1	校務分掌は適切に分担されている。	20	53.3	26.7	0
2	職員会議は効果的に運営されている。	46.7	40	13.3	0
3	運営委員会等の校内委員会は効果的に運営されている。	20	73.3	6.7	0
4	管理職は、各主任、各分掌等と連携し、組織的な対応ができています。	46.7	46.7	6.7	0
(2)教務部					
1	学校行事の設定は、適切であった。	53.3	46.7	0	0
2	生活時程および時間割の編成や変更は適切であった。	46.7	53.3	0	0
3	TTによる指導は適切に行われている。	53.3	40	6.7	0
4	素点・成績・通知表の締め切りは適切であった。	46.7	46.7	6.7	0
(3)研究部					
1	授業研究や校内研修のもち方、内容は適切であった。	40	53.3	6.7	0
2	授業改善の視点等が明確に示されていた。	53.3	46.7	0	0
3	「互いの意見を大切にし、学びを深める生徒」の姿が見られるようになった。	20	73.3	6.7	0
4	「差別や偏見を見抜き、積極的に解消していこうとする生徒」の姿が見られるようになった。	0	93.3	6.7	0
5	「獲得し、積み重ねた知識・技能を活用して自ら考え、課題を解決する生徒」の姿が見られるようになった。	0	53.3	46.7	0
6	「話し合いによる友達との意見の交換から、自分の考えを深めていく生徒」の姿が見られるようになった。	0	93.3	6.7	0
7	「体験的な学習を通して、探究的に学ぶ生徒」の姿が見られるようになった。	6.7	66.7	26.7	0
8	「学習習慣を確立し、積極的に学ぼうとする生徒の姿」が見られるようになった。	0	46.7	53.3	0

学校評価（教職員対象）		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
(4)生徒指導部					
1	ルールを守る等、規範意識向上のための指導は適切に行われた。	6.7	73.3	20	0
2	問題行動への対応は適切に行われている。	26.7	60	13.3	0
3	SC、外部専門機関等との連携は効果的であった。	53.3	46.7	0	0
4	生徒会活動は効果的に実施された。	13.3	80	6.7	0
(5)総務部					
1	修理箇所の発生の際、営繕、管理は適切に行われている。	53.3	46.7	0	0
2	環境整備、美化、衛生管理は教職員の協力態勢のもと、推進が図られている。	40	53.3	6.7	0
3	個人情報情報は適切に管理されている。	46.7	40	13.3	0
4	備品の購入等、予算執行は適切に行われている。	66.7	33.3	0	0
(6)その他					
1	諸帳簿、諸会計の管理は厳正に行うことができた。	53.3	40	6.7	0
2	交通法規の遵守や、場に応じた服装など、教育職員としての在り方を自覚した行動を心がけることができている。	66.7	33.3	0	0
3	自身のライフ・ワークバランスや子どもと向き合う時間を増やすために業務の効率化を図ることができている。	6.7	60	26.7	6.7
4	自身のライフ・ワークバランスはとれていると感じる。	20	60	13.3	6.7
5	勤務時間の校務の量、休暇等の配慮をし、職員の心身の健康の維持のための配慮がされている。	33.3	60	6.7	0
6	教育活動実施の反省・評価は適切に行われ、改善のために役立てられている。	13.3	86.7	0	0
7	教職員相互で、意見を出し合ったり、協力し合ったりする雰囲気が醸成されている。	13.3	80	6.7	0
※数値はすべて%表示です。					